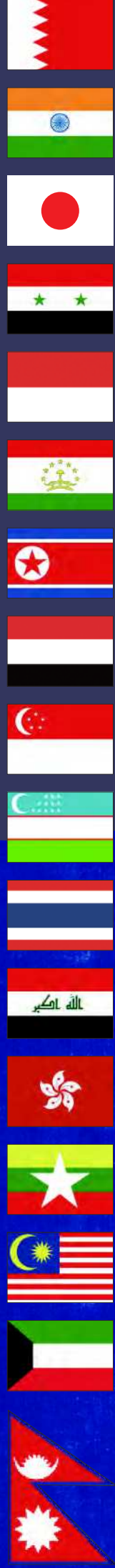


さあ行こう！ブラジルへ！アジア代表日本として！



アジア代表日本 2014

- ◆主催：「アジア代表日本2014」実行委員会
- ◆共催：太宰府天満宮・九州国立博物館
朝日新聞社・西日本新聞社
アビスパ福岡
- ◆後援：日本サッカー協会・福岡市・太宰府市
福岡市教育委員会・太宰府市教育委員会
太宰府観光協会・太宰府市商工会
福岡県サッカー協会
太宰府市サッカー協会・FBS福岡放送
九州朝日放送・TVQ九州放送
テレビ西日本・NHK福岡放送局
RKB毎日放送・つくし青年会議所
西日本リビング新聞社・FM福岡
- ◆協賛：博多大丸・公益財団法人福岡文化財団
DIC・チャンネルエンターテインメントワークス
ふくや・レンゴー・イムズ
ベネッセコーポレーション・キリンビール
日本航空・HARLEY-DAVIDSON福岡
福岡リハビリテーション病院
人形師 中村信喬

(社名順不同)

「アジア代表日本」はサッカーを文化として捉えていき、地域での活動を通しアートとスポーツの融合を提案するプロジェクトを推進します。

サッカーワールドカップが開催される年毎に日比野克彦氏総合企画演出のもと、この活動は行なわれていきます。

8年前の2006年ドイツ大会においてはアジア予選に参加した国々のFUNEを段ボールで制作しました。

第二回目となる2010年アフリカ大会では古着の布でマッチフラッグを制作しました。

第3回目となる今回は「染め」をテーマにマッチフラッグを制作します。





マッチフラッグ・ 染めワークショップ

参加自由
お気軽に!

2014年4月～5月27日(火)

開催場所：太宰府天満宮、福岡県内を中心に九州各地

ワールドカップブラジル大会グループリーグでアジア代表日本と対戦する、アフリカ代表コートジボワール、ヨーロッパ代表ギリシャ、南米代表コロンビアと日本の試合のマッチフラッグをワークショップ形式で一般参加者と共に作ります。マッチフラッグとは、対戦するふたつの国のナショナルフラッグをひとつにし、お互いの国のことを想像しながらその試合の日を待ちわびる気持ちをカタチにするプロジェクトです。6月にはワールドカップブラジル大会に持っていき、制作に参加した人たちの想いをブラジルに届けます。



2010年の九州国立博物館での展示風景

2014年6月3日(火)～7月13日(日)

展示場所：九州国立博物館

観覧無料

ワールドカップ2014アジア大会の2次予選に進出した30カ国と、シードされた5カ国の計35カ国のナショナルフラッグを「マッチフラッグ・染めワークショップ」で制作し、九州国立博物館で展示します。

BLUE FLAG

2014年5月中旬～7月13日(日)

掲示場所：太宰府天満宮境内・参道、太宰府市内、
福岡市内各地、鹿児島市、熊本市

太宰府を中心に地域が一体となってBLUE FLAGを掲げ、応援ムードを高めていきます。

アジア代表日本はサッカー文化を発信します。



HIBINO CUP FUKUOKA 2014

参加者募集
参加費1チームにつき
3,000円

2014年5月24日(土)

9:00～16:00 ※雨天中止

開催場所：福岡市役所前ふれあい広場

参加者が段ボールでゴールを、エアパックンでボールを作成し、サッカーの試合をします。

さらに、それぞれのチームのイメージカラーを用いてオリジナルユニフォームを作成し、アートとスポーツが融合したイベントを開催します。

※詳細は TEL:090-5930-7950

担当：戸高まで



アジアサッカーサミット

2014年5月25日(日) 13:30開場 14:00開演

開催場所：イムズホール(天神イムズ9階)

パネラー：日比野克彦・岡田武史・関塚隆・野見山篤

料金：前売り券500円(税込)・当日券800円(税込)

Pコード(826-519)

※収益金の一部は、東日本大震災義援金として寄付致します



サッカーとアジアをキーワードに4人のパネラーがそれぞれの幅広い経験をもとにサッカー文化を語ります。観客からの意見もとりこみ次世代のアジア、日本、福岡の姿を語り合います。サッカーの話しをしながらもそれぞれの人柄が垣間みれるアジアサッカーサミットです。